

## ⑥9 宮古港海岸鉾ヶ崎地区港湾高潮対策事業

受賞機関 岩手県 沿岸広域振興局 土木部 宮古土木センター

**キーワード** ハイブリッド防潮堤、アクリル製の窓、水門・陸閘自動閉鎖システム、Jアラート

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

宮古湾海岸における防潮堤の整備。全国的にも採用事例の少ないプレキャストブロックを採用し、復興需要に伴う慢性的な生コン不足に対応するとともに施工時の省力化を図った点や、防潮堤にアクリル製の窓を設置することで海が望める構造とし、地域住民からの要望や良好な景観形成へ配慮した点が評価された。

### 1. はじめに

岩手県沿岸の中央部、宮古市の中心部に位置する鉾ヶ崎地区（宮古港海岸）は、海岸線に商業施設、水産関係施設や住宅地が隣接しており、防潮堤等の津波対策施設は整備されていなかった。

平成23年3月11日の東日本大震災により、宮古湾はT.P.+11.6m（痕跡値）津波に襲われ壊滅的被害が発生した。

### 2. 事業の概要

鉾ヶ崎地区（宮古港海岸）では、住民の命と安全な暮らしを守るため、数十年～百数十年の発生頻度が高い津波を想定して、堤防高さをT.P.+10.4mに設定し、総延長1.6kmに及ぶ防潮堤を新設した。

実施に当たっては、復興需要に伴う生コン不足や用地制約等の厳しい現場条件に対応するため、全国的にも採用事例の少ないプレキャストブロック（ハイブリッド防潮堤）を採用するなど、事業プロセスの短縮に努め、令和2年9月に供用開始することができた。

また、防潮堤にアクリル製の窓を設置し、防潮堤の背後地から海が望めるようにし、景観にも配慮した構造と



防潮堤の空撮

した。

東日本大震災では、水門陸閘の操作等で多くの消防団員が犠牲となったことから、岩手県では、「J-ALERT」の衛星回線の信号受信により、水門陸閘等を自動閉鎖する「水門・陸閘自動閉鎖システム」を採用している。

### 3. 事業の成果

今回の事業完成により、無堤区間だった鉾ヶ崎地区が防潮堤で守られる形となり、背後地で実施した「鉾ヶ崎・光岸地地区土地区画整理事業」と合わせ、鉾ヶ崎地区の活性化に繋がっている。

また、近接している出崎地区では、道の駅・みなとオアシスの「シートピアなあと」があり、市民の賑わいの



津波避難訓練の様子

場となっている。

### 4. おわりに

防潮堤完成後は、「3.11」や、津波防災の日に合わせて津波避難訓練など実施しており、甚大な被害をもたらした「東日本大震災」での教訓を忘れることなく、今後の津波災害に対する備えをさらに強化している。

今日まで、他県から応援職員の派遣をいただき、復旧・復興への歩みを進めてきました。ご支援いただいた皆様にあらためて感謝いたします。

賛助会員 (株)浅沼組、八千代エンジニアリング(株)